

台車運搬の危険性

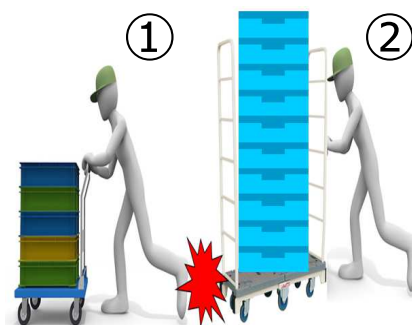
運搬作業において台車は欠かせないものですが、多くの危険性も潜んでいます。どのような危険性が潜んでいるのか、実際に起こった例をもとに注意点を確認し、ケガの未然防止につとめましょう!

【事例1】後方から台車に追突される

被災者(①)が箱を積んだ台車を運搬中、後方の作業員(②)が運搬する台車に左足首をぶつけられた。後方の作業員は1度に多く運搬して早く作業を終わらせようと考え、目線より高く箱を積んで運搬していた。

目線より高く物を積むと前方の見通しが悪くなるので、人や物に気づかないことがあります。

左足首 打撲



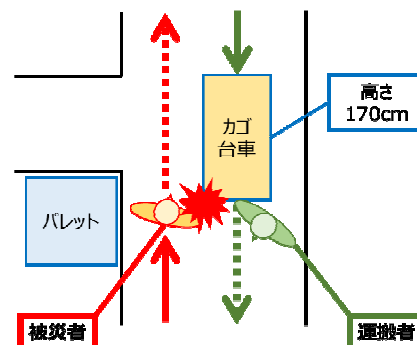
●ポイント・・・台車に物を積む高さは目線より低くしよう、ヨシ!

【事例2】すれ違うカゴ台車と接触する

被災者が通路を移動中、別の作業員がカゴ台車を引いて運搬しているのに気づき左へ回避しようとしたが、左隣に製品を載せたパレットがあり回避できなかった。その結果、カゴ台車とすれ違う際に右肩とカゴ台車がぶつかり、被災した。

運搬者はカゴ台車へ積んだ物に気を取られやすく、周りの人や物に気づかないことがあります。運搬する際は台車だけではなく、周りにも注意を払いましょう。

右肩 内出血



●ポイント・・・台車に気を取られすぎず、周りにも注意を払おう、ヨシ!

※やむなく人や台車の近くを通る場合は、「通ります!」と声をかけて相手に気づいてもらうことも大切です。

台車の運搬は、いつでも周囲を確認できるようにすることが重要です!
台車を扱わない方も、周囲をよく確認し、台車の近くを通らないことが重要です!



★今月の安全衛生川柳～周囲をよく確認し、激突によるケガを未然に防ぎましょう!

激突を しないようにと 確認を

南大阪支店 スタッフさんの作品

※安全衛生川柳を募集しています。詳しくはスタッフ専用サイト「トコトランド」をご覧ください。

